

駅前に服部緑地の豊かな自然が広がる、大阪・豊中市の緑地公園駅。照明設備を、ホームは駅舎用特注のLEDベースライトTENQOOシリーズ110タイプ(防水・防雨器具)にリニューアルし、安心安全な明るさを確保しつつ、大幅な省エネルギーとメンテナンスコストの削減を実現しています。

大阪・梅田駅から市営地下鉄御堂筋線直通で約13分。北大阪急行電鉄の緑地公園駅は、1日あたり3万人以上の乗降客が利用する2面2線の地上駅です。ゆるやかなカーブを描くホームの真上は新御堂筋の車道となっており、頭上を車が行き交うユニークな構造。大阪府を代表する緑地のひとつ、総面積126.3haの広大な自然公園「大阪府営服部緑地」の玄関口としても知られ、休日には多くの行楽客でも賑わいます。

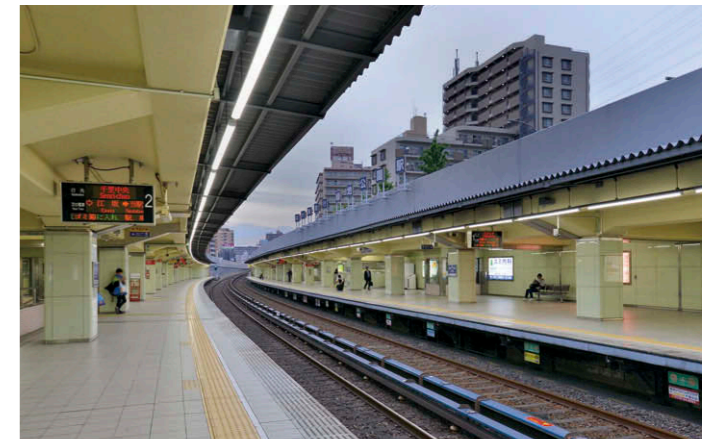


【物件概要】

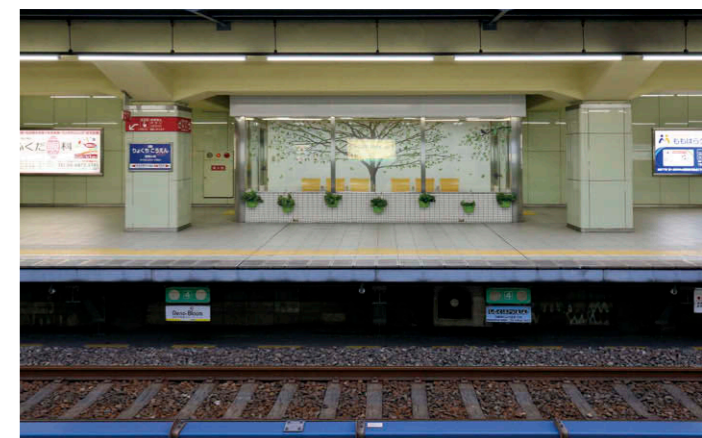
所在地：大阪府豊中市東寺内町18-1  
 駅構造：地上駅(掘削構造)  
 ホーム：相対式 2面2線  
 所属事業者：北大阪急行電鉄(株)  
 施工：(株)阪急阪神電気システム  
 更新完成：2017年3月



①ホーム乗降部の照明 TENQOOシリーズ防水・防雨仕様を既設器具のレースウェイに配置したホーム乗降部。2番線ホーム端から江坂方面を望む



①2番線ホーム端 千里中央方面を望む



①レール越しに見るホーム上のTENQOOシリーズ防水・防雨仕様のライン配置



②③改札口の照明

一般仕様のTENQOOシリーズ110タイプ埋込形・40タイプ埋込形を配置

①車両乗降口

乗降客の足元をほどよい明るさに照射

駅舎用特注仕様としたTENQOOシリーズにより消費電力を大きく削減

今回の照明設備リニューアルは、既設の蛍光灯器具から、高効率なLEDバーを使用したTENQOOシリーズに更新することで消費電力を大幅に削減することを目的としています。

ホーム乗降部では、蛍光灯器具が取り付けられていた既設レースウェイを利用し、同サイズのTENQOOシリーズ110タイプ駅舎用特注器具を設置。連続配置とすることで均斉度を高め、乗降口付近で200ルクス以上の照度を確保。乗降の際の良好な足元の視認性はもちろん線路内にも光が届く設計とし、乗客の心理的な不安を感じさせ

ない光空間が得られています。また、ホーム乗降部の器具のみ、風雨の影響を考慮して、LEDバー端部をゴムパッキンでカバーした防湿・防雨仕様とし、風雨が影響しないホームの待合部、通行部などは、一般仕様のTENQOOシリーズ110タイプ直付形の採用で十分な照度を確保。配管(電源穴)位置が設置場所によって異なり、さまざまな方向からの施工となるため、器具側で対応可能な駅舎用特注仕様としています。

改札口はTENQOOシリーズ埋込形を特注仕様の2連結、3連結として自動改札機周辺を明るく、見やすい視環境としています。

① TENQOOシリーズ110タイプ直付形 W70 防水・防雨器具(駅舎用特注)

② TENQOOシリーズ110タイプ埋込形 W230 (特注2連結)

③ TENQOOシリーズ40タイプ埋込形 W230 (特注3連結)

主な掲載器具一覧		器具名(品種名)	形名	台数	備考
ホーム	乗降部	①TENQOOシリーズ110タイプ直付形 W70 防水・防雨器具	(駅舎用特注)	138	消費電力:43.5W
	待合部・通行部	TENQOOシリーズ110タイプ直付形 W70	(駅舎用特注)	43	消費電力:43.5W
改札口	②	TENQOOシリーズ110タイプ埋込形 W230	(特注2連結)	一式	消費電力:43.5W
	③	TENQOOシリーズ40タイプ埋込形 W230	(特注3連結)	一式	消費電力:20.3W